

川内原発再稼働に ただちに抗議！

多くの国民の反対の声を無視して、8月11日川内原発1号機の再稼働が強行されました。原発ゼロ長岡市民ネットは、「川内原発1号機を再稼働させたことに強く抗議します。ただちに停止措置をとるよう求めます」との声明文を政府と九州電力に送付しました。実効性ある避難計画、火山評価、老朽化対策、事故時の責任の所在、そして「核のゴミ」問題など未解決な重要課題が山積する中での再稼働でしたが、2週間も経たないうちに復水器の細管に穴が開き海水が混入するというトラブルが発生しました。原発再稼働に改めて強く抗議し停止を求めます。

◇8・22 関原上映会

入場者23人、地域署名249筆

集めた25筆の署名を携えて参加された方など、地域で声を掛け合って参加されました。

上映会に先立つチラシ配布、地域署名には2日間でのべ16人が参加。用紙を何枚か求められたり話が盛り上がるなど、関心の高さが伝わってきました。

◇一ちゃんとひさん二人で222筆

近所の人を中心に110軒以上訪ねて署名をお願いした後で回収に伺うという方式で222人の方から署名をしてもらいました。

また、署名用紙がもつとほしいと電話をくれたHさんは、「断る人はだれもない」と周りの人に広げています。5人、10人、数十人と集めて送ってくれる方など会員のみなさんの積極的な取り組みが広がっています。

◇署名の到達3440筆

十一月中に二万五千筆達成へ

目標の達成を目指すため、請願署名の提出は十二月議会に変更いたします。ご理解とご協力をよろしくおねがいいたします。

地域署名に全市のみなさんご参加を

★地域 天柳ドリームタウン
配布 9月4日(金) 15時～
回収 9月7日(月) 9時半～
集合 ドリームタウン公園

★地域 稲保団地
配布 9月14日(月) 15時～
回収 9月16日(水) 9時半～
集合 稲保団地入り口

10・11 なくそ=原発 柏崎大集会 今話題のアイドル「制服向上委員会」が出演

<バス運行表・申し込み用紙付きの別紙チラシをご覧ください。>

お誘い合わせてあなたもぜひご参加を！お申し込みはお早めに！

※前号で柏崎原発視察付きの独自企画とお知らせしましたが、日程等の都合で今回は実施できません。

◆次回の街頭行動 9月11日(金) 16:30～17:30 アオーレ前 ご参加を◆

原発ゼロ長岡市民ネットニュース

第46号 2015年9月1日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 24-2870

矢引 090-3063-6365 佐藤 090-4925-3707

ドキュメンタリー映画「未来への決断 ～ノーモア原発」 8・22関原地域上映会 感想

テレビで放映してほしいですね。良かったです。代替エネルギーの事がみなさんわからないのではと思いますので、なんとか知らせたいですね。

だんだん事故のことが忘れ去られようとしています。目に見えることをドンドンやっ行ってもらいたいと思います。

国の政策として、原発廃止のメドをたてること。「死の灰」を処理できない人間が、それを処理する知恵ができるまで。しかもこの4年間（原発が）なくても（電力が）間に合っている現在、第一に原発をやめること。それから電力をどうするかを人間の知恵を働かせて、地球を壊さない方向に行こう。

戦争法案廃案運動をはじめ、原発、TPP等すべての事案に多くの人々が関心を示し、行動する流れがあることに心強く思います。

処理できないものをどんどん作る（燃やす）ことは許されません。

原発 ぜったいゼロにしたい。

（原発）大反対です

原発ゼロを目指しているわけですが、長岡市の市民はどうなっているのでしょうか。いつも参加者が少なすぎだと思います。やっぱり学習しないとだめだと思います。映画を見たり、集会に参加するのも学習です。

柏崎原発に近いのにもかかわらず地域の方々の関心の薄さに驚いています。原発の歴史的背景は、経済的背景は…、今回再理解でき有意義です。残念なのはもう少し個別の「柏崎」について科学的・物理的な情報があれば尚、参考に出来ました。

地震・火山列島の日本で原発再開など狂気の沙汰。現に桜島、箱根等で今にも爆発しようとしている。早く原発は廃止すべきだ。その為には経済の疲弊にあえぐ原発立地地域の生活保障策を確立すべき。人間が生きて行くのに多くのものはいらぬ。ささやかな生活があればそれで十分です。



<世話人のひとり 広川一美さんのおススメの1冊> 永幡嘉之 写真・文 岩崎書店刊
原発事故で生きものたちに何がおこったか (2015年)

1980年1月1日の新聞の年頭のメッセージによって、私は地球のとらえ方を変えました。そこには「地球があぶないのではなく、人類という人間の“種”があぶないのです」とありました。フクシマの大人災・大天災でわかったことは、原発ほど“人種”を危なくするものはないと実感をした。この本はその実際を知らせています。月日の中で風化させている私を一番ギョッとさせた写真はカバーをはずしたときの表紙です。汚染の土をはがして入れてある袋袋袋で、柏崎刈羽でおきればこれをしなくてはならないと思うと…。大人災は防ぎたいと切に願い、風化気味の私を元に戻してくれた一冊です。（読んでみたい方は47-0897まで）